

WEBGUARDIAN Version 3.3 リリースノート

WEBGUARDIAN V3.2.02 for Linux から WEBGUARDIAN V3.3.00 for Linux において、以下の機能追加および修正／変更を致しました。

1. 機能追加、改善

(1) 操作記録統計情報

操作記録統計情報に以下のレポート項目を追加致しました。

- ・ログイン累計
- ・ポリシー設定累計
- ・アカウント操作累計
- ・起動／停止累計
- ・スケジューラーサービス累計

(2) 管理サーバーの冗長構成

2 台の管理サーバーをそれぞれ管理サーバー(アクティブ機)、管理サーバー(スタンバイ機)として構成し、アクティブ機に障害が発生した場合に備えて、設定やデータを定期的にスタンバイ機にコピーすることを可能に致しました。また、アクティブ機での障害発生時にはスタンバイ機をアクティブ状態に切り替えて運用を継続することができ、管理サーバーの可用性を高めることができるように致しました。

(3) バックアップ機能強化

テープへバックアップを行う際、以前に記録されたバックアップデータを上書きせず、追加保存できるように致しました。

(4) 利用者権限インポート機能

情報管理者、部門情報管理者、システム管理者のアカウント作成及び更新時に、既存アカウントの権限を反映させる機能を追加致しました。

(5) 各種 OSS の追加およびバージョンアップ

以下の OSS を追加およびバージョンアップ致しました。

- Apache/1.3.41
- mod-ssl/2.8.31-1.3.41
- PHP/5.2.6
- libpng/1.2.29
- OpenSSL/0.9.8h
- PostgreSQL/8.1.13
- Smarty/2.6.19
- Libxml2/2.6.32
- libarchive/2.2.8
- SQLite/3.5.9
- p7zip/4.58

(6) インスタントメッセージ送信データ検査

インスタントメッセージの使用禁止と、送信するメッセージのキーワード検査を可能に致しました。また、インスタントメッセージで送信されたメッセージを閲覧することを可能に致しました（Yahoo チャットについては非対応となります）。

対象は以下の 4 サービスとなります。

- Windows Live メッセンジャー
- Yahoo!メッセンジャー
- AOL インスタントメッセージ
- ICQ

(7) プロキシ認証不要の警告機能

プロキシ認証を使用していない環境においても警告アクションを利用可能と致しました。

(8) リクエスト URL のカテゴリ名通知機能

禁止画面／警告画面およびメール通知文中で、リクエスト URL が属するカテゴリ名を表示させることを可能に致しました。

(9) クライアント IP フォワード機能

プロキシが多段構成の環境で、X-Forwarded-For ヘッダを用いたクライアント IP アドレス情報の取得／送信を可能に致しました。

(10) LDAP 連携 (Active Directory 含む)

認証名リストを LDAP からインポート可能と致しました。また、スケジューラを使用して指定日時に LDAP の再検索を行いアドレスリストを更新する機能の追加、管理サーバーの LDAP 関連機能の強化を致しました。

(11) ユーザーグループの IP 範囲指定

ユーザーグループを IP アドレスで定義する場合、「192.168.1.102-199」のような範囲指定と「192.168.1.200,210」のような列挙による指定方法を可能に致しました。

(12) その他改善項目

その他、以下の項目を改善致しました。

- ・管理サーバーと検査サーバーの通信の際、IP アドレスでの制限を行うことでサーバー間の認証を強化致しました。
- ・スケジューラジョブおよびログ収集プロセスの起動／終了イベントをイベントログ (notice レベル) へ記録するように致しました。
- ・規制ルールの編集画面において「詳細設定」「詳細設定の取り消し」リンクをクリックした場合、以前の入力値がクリアされないように致しました。
- ・ウェブ検査サーバーの LDAP 関連パラメータ (検索結果エントリの最大数、検索操作の最長時間、referral の処理) を追加致しました。

2. 修正

(1) LDAP サーバ設定の認証ボックスが逆に表示される不具合

管理システム各種設定権限が閲覧権限のみの利用者が管理サーバーパラメータの設定画面を表示した場合に、LDAP サーバ設定の「認証」のチェックボックスが、実際の設定とは逆の状態に表示されてしまう不具合を修正致しました。

(2) アカウント追加の際、1 と 01 が同一視されていた不具合

利用者管理にてアカウントを追加する際、アカウント名で'1'と'01'等が同一視され、'1'が登録されている場合、'01'や'001'などを新規に登録できない不具合を修正致しました。

(3) リストア用のリスト作成時のメッセージに関する不具合

テープからのリストアで「リストを作成する」を選択し実行した時に表示されるメッセージの不具合を修正致しました。

(4) 特定日のプルダウンリスト表示に関する不具合

メール監査統計レポートおよびウェブ監査統計レポートのレポート作成日が、ある特定日(3, 5, 7, 10, 12 月の最終日)の場合、監査統計データ選択のプルダウンリスト内表示の不具合を修正致しました。

(5) 2GB 以上のアクセスログにより発生する不具合

アクセスログのファイルサイズが 2GB を超えると、サービス停止やログファイル損失が発生する不具合を修正致しました。

(6) Acrobat 9 で作成された PDF ファイル検査時の不具合

Acrobat 9 で作成された PDF ファイルをキーワード検査する場合、その PDF ファイルが作成された時の Acrobat 9 の設定によって、キーワード検査の結果が異なってしまう不具合を修正致しました。

(7) wg_store のメモリリークに関する不具合

wg_store にメモリリークがあり、時間の経過とともに wg_store のプロセスサイズが肥大しプロセスサイズがメモリサイズの限界に達した際、wg_store プロセスがクラッシュする不具合を修正致しました。

(8) URLDB が更新されない不具合

URLDB の更新が行えない不具合があり、これを修正致しました。

(9) 特定のキーワード検出がされない不具合

特定のキーワードを設定すると、内容によってそのキーワードを含むメッセージでも検査で検出されない不具合があり、これを修正致しました。

(10) サイズ条件により正しく判定されない不具合

サイズ条件に「0 バイト超」を指定した際、正しく判定されない不具合があり、これを修正致しました。

(11) JIS X 0213:2004 文字を含んだテキストデータで検査に失敗する不具合

JIS X 0213:2004 文字を含んだテキストデータで検査に失敗する不具合を修正致しました。ただし、JIS2004 文字を含んだキーワードの登録はできません。

3. システム要件

WEBGUARDIAN V3.3.00 for Linux を利用するには、以下の要件を満たしたハードウェア／ソフトウェアが必要となります。

【Linux 版サーバ条件】

OS	: RedHat Enterprise Linux AS/ES 4, RedHat Enterprise Linux 5 (32bit/64bit) RedHat Enterprise Linux Advanced Platform 5(32bit/64bit)
CPU	: 上記 OS が動作する IA-32 (Pentium 以上)、 Intel64 プロセッサ (Itanium2 は非対応)

【管理用クライアント条件】

OS	: Windows XP/Vista
ウェブブラウザ	: Internet Explorer 6.0sp2, 6.0sp3, 7.0sp1
その他条件	: ブラウザの JavaScript が有効であること

以上